



石田裕一



上越市議会市政レポートNo.23

2024年4月21日の「上越市議会議員一般選挙」において、「2415人(票)」の皆様からご支援をいただき、4期目当選させていただきました。

多くの皆様のご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。

新たな気持ちで、常に初心を忘れずに、現在上越市の「人口減少」等の大きな課題に向き合い、「持続可能な地域づくり」にしっかり取り組んで参ります。

今後も皆様のご支援を宜しくお願い致します。



★全国市議会議長会より感謝状を授与

上越市議会第23代議長として、全国市議会議長会の評議員を努めて、この感謝状をいただきました。貴重な経験をさせていただき感謝申し上げます。

★新しい会派「みらい」は4名で始動! 素晴らしい同志集結

基本理念

会派みらいは「謙信公が治めた頸城平野に広がる私たちの郷土、この上越市の風土に培われた確かな文化を護り、豊かな“みらい”につなげて行く」ことを目標に活動します。住民の福祉向上を「第一義」に、志を一つに、フットワークよく、常に学び、皆様のご意見を聞き、政策提言する集団として努めます。

「代表」石田裕一
(4期・浦川原区)

「幹事長」高橋浩輔
(2期・高田仲町)

「副幹事長」櫻庭節子
(3期・牧区)

「会計」牧井邦生
(1期・春日野)



★私の所属委員会(以下の委員会に所属)

- 文教経済常任委員会(委員)
教育委員会、産業部、文化観光部を所管し、教育、経済、観光についての調査研究を行う。
- 災害対策特別委員会(委員)
近年の災害に備え、防災・減災対策に向けて積極的に提言を行う。原子力災害時の避難計画や夜間避難対策、津波対策の調査研究を行う。
- 議会改革推進特別委員会(委員)
社会経済環境の変化等、広く市民の負託に応えるため、基本的な議会の活動原則を検証し、議会運営の改革推進に向けた調査研究を行う。



令和6年
第4回(6月)
定例会
文教経済常任委員会
での質疑応答
の様子

◆被災地・輪島市へ炊き出しボランティア（令和6年5月21日）



中郷区の「ニューミサ」さんの輪島市への炊き出しボランティアに同行させていただく。朝市の現場は、まだ手もつけられない悲惨な現状である。福祉課からの依頼で、高齢者施設「百寿園」に慰問し、歌で元気を送った。輪島市の早期復興を願い、また何かあったら協力していきたい。



「百寿園」へ慰問、歌で元気

◆会派みらい「日本自治創造学会研究大会」参加（令和6年5月30日・31日）



今回の研究大会テーマは「個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する」で、会派「みらい」の4名で参加する。今回の研修で一番興味があったのは、岡山県美咲町・青山町長の講義「賢く収縮するまちづくり」である。上越市も私が暮らす中山間地域では人口減少は止まらない。非効率な施設削減は避けられないが、「未来に負担を残さない」の青山町長の言葉が心に残った。一度ぜひ美咲町へ行って取り組みの現場を見てみたい。



◆市長に問う ※約2年ぶりに「一般質問」に登壇しました。

令和6年第4回（6月）定例会
一般質問（令和6年6月14日）



●2024年4月上越市議会議員一般選挙について

（問）この度の選挙投票率52.4%の評価と、投票所へ行けない高齢者の対応、選挙DX化への取り組みは？

（答）投票率は社会情勢に左右されるので、選挙啓発活動の成果と言及するのは難しい。今後も投票環境の向上とDX化は県が示す内容に応じ、適切に判断していく。

●持続可能な地区別まちづくり支援事業について

（問）令和5年度に大島、浦川原、牧の三地区でモデル事業としておこなったワークショップ事業の評価は？

（答）老若男女の参加による多様な視点で、地域の力を活かす街づくりの第一歩につながった。今後は地域を担う人材育成と、全市への展開方法について検討していく。

◆農政建設常任委員会・中山間地域（渇水被害視察）（令和6年6月26日）



浦川原区谷地内へ

春からの水不足で、特に中山間地域の天水田が水不足で田植えができない、田植えをしたが水不足で生育しない、天水田にはため池も必要で水がたまらない、その影響がでている、牧区、浦川原区、安塚区、大島区へ現地視察した。今年も渇水対策が求められて、あらためて今後の天候が気になるところである。



牧区高尾地内へ



安塚区原山地内へ



大島区大平地内へ

◆文教経済常任委員会・視察(令和6年7月9日～11日)

文教経済常任委員会メンバー

(委員長)安田佳世、(副委員長)上野公悦、(委員)石田裕一、山本佳洋、平原留美、大島美香、伊崎博幸、降旗太地(以上8名)

●宮城県・仙台市「学びの多様化学校(ろりぽっぷ小学校)」(7月9日)



現在上越市でも「学びの多様化学校」の設立にむけて検討に入っている。公立でも「学びの多様化学校」を設立するのは大変であるのに、私立で、それも保育から小学校へ行けない子供に視点をおき、「どういう子に育てたいか」ではなく、「どう育てているか」が重要だとの言葉に共感した。「学びの選択の一つとしての新しい学校」を目指す必要はある。



●福島県・会津若松市「街なかテナントミックス事業」(7月10日)



中心市街地の賑わいを再生することを目的とし、対象エリア周辺にある空き店舗を利用して、生活者支援や交流機能のある店舗を誘致する事業は、15年が経ち新たな取組をスタートさせた。テーマは「マチイク」で「まちが育ち、人を育み、未来につながるまちづくり」をキャッチフレーズに、今後は若い人がまちを創っていくと、人材確保にも力を入れていることに共感した。



●埼玉県・熊谷市「企業支援・ビジネスマッチングサイト」(7月11日)



熊谷市では「チャレンジ・ステージくまがや」のビジネスマッチングサイトを立ち上げて、インターネットで会社のPRや求人広告などの企業支援をおこなっている。市のHPとは別に「産業振興部」でおこなっていることが良い。上越市でも企業支援が重要で、どうおこなっていくか検討が必要である。



★広報広聴委員会・議会意見交換会を開催

意見を聴く会

- 令和6年7月21日(日)10時～11時30分
「大潟コミュニティプラザ」開催
- 令和6年7月22日(月)18時30分～20時
「浦川原コミュニティプラザ」開催



浦川原会場

議員と気軽にトーク in bibit(ビビット)

- 令和6年7月31日(水)13時～14時30分
今回は高田・本町のコワーキングスペースで開催
多くの皆さんからお越しいただき、3グループに分かれて実施。大変有意義に皆さんと情報交換できた。





★春日山城跡・散策(虹の会)

令和6年5月16日



春の選挙後に春日山城跡にাগরি
上越市を一望して市政に臨む

★上沼道シンポジウムin安塚

令和6年5月18日



花角・新潟県知事をむかえ、
上沼道の早期促進を皆さんと共有

★ふるさと大浦安「挨拶運動」

令和6年6月3日～7日



東頸中学校に統合で、
青少年育成会も一つになって活動

★大島区「あぜ道ほたる・夢灯り」

令和6年6月8日



大島区は「ほたるの里」
田んぼは灯りに包まれていた

★ニトリJDリーグ上越ラウンド

令和6年6月9日



ソフトボール女子リーグ
「太陽誘電ソルフィユ」のトッププレーを応援

★第10回うらスポマラソン大会

令和6年6月16日



第10回の節目をむかえ、
今後も「スポーツで地域づくり」

★杉田庄一生誕100年記念顕彰会

令和6年6月30日



浦川原区小蒲生田の杉田庄一之碑
太平洋戦争で戦った青年を伝承

★第1回上越自転車まつり

令和6年7月13日



上越市板倉区に自転車愛好家
500人が集結、私も初参加

★吉村碧後援会設立総会

令和6年7月19日



上越市大潟区出身で
スペイン女子リーガの吉村選手を応援

★高田祇園祭・大民謡流し

令和6年7月25日



上越市議会議員16名の参加で
上越まつりを盛り上げる。

★直江津祇園祭・大民謡流し

令和6年7月28日



高田に引き続き直江津大民謡流しに参加。
小林議員と一緒に

私の思い

7月19日に「臨時議会」を開催、6月議会の際の市長の失言に対する処分「給料全額カット5か月分」の提案は全会一致で否決。さらに議会からは「辞職勧告決議案」を賛成多数で辞職を促した。上越市議会はこの春の選挙でフレッシュな新人11名と女性議員は8名、新たなメンバーでスタートした。しっかり中川市政に向き合い、一丸となって議会運営に努めます。

